





## パレードに参加して 近藤理枝

恒例の七夕パレード。織姫、彦星、浴衣を着た新人スタッフが各ユニットを回り、お年寄り一人一人の所へ伺いました。突然やってきた珍客に驚く皆さん。「ありがとうございます」と泣き顔の人。様々な表情で歓迎していただきました。橋爪洋之助さんは突然の訪問にも関わらずとても嬉しそうな笑顔を見せてくださいました。皆さんの素敵なお顔と共に記念撮影をして心に残るパレードとなりました。

## みんなの願いを込めて 七夕パレード

午後は創立記念日毎年恒例!!新人スタッフが仮装して、笛を持って各ユニットを回りました。皆さんの願い事を書いた短冊を飾りました。「ひ孫に会いたい」「アメリカに行ってみたい」「天皇陛下に会いたい」などなど、様々な願い事の短冊が飾り付けられました。皆の願いが叶いますように!!



## 牧竹市さんより

創立15年おめでとうございます。  
すずの郷らしく、これから20年、50年、  
100年と皆さんのがんばりで  
生き生きと暮らせる  
生活の場であって欲しいです。これからも  
宜しくお願ひします。



## あじさいや 菖蒲を見に 出掛けました



6月上旬。市内のコロナ感染者数が減少傾向にあったため、季節の花であるあじさいや菖蒲を見に出掛けました。時々雨がポツポツと降っていましたが、カッパを着て、季節の花を見て、梅雨の時期を感じていただきました。

私は、柴田正廣さんと一緒に菖蒲を見て回りました。アヤメ・かきつばた・菖蒲の見分け方が書かれたパンフレットを柴田さんにお渡しすると、そのパンフレットとお花をじっくりと見て観察されていました。一生懸命に見比べておられたところで、咲いている全てのお花が菖蒲であることに気付くと、大笑いされました。

絵を描くことが大好きな柴田さん。すずの郷に戻り、ご自身のお部屋でパンフレットを見ながら菖蒲の絵を夕食の時間まで真剣に集中しながら描いておられました。しばらくしてお声掛けすると「描いたよ」といいながら、嬉しそうにその絵を見せて下さいました。

コロナ感染者は日々、増えたり減ったりし、まだまだ落ち着いて生活ができる状況ではありませんが、少しでも減少傾向にあるときは、外に出て、お年寄りに笑顔になっていただきたいです。（木村優花）



↑菖蒲を見に出掛けたあとに書いた絵を持つ笑顔の柴田正廣さん